

評価実施年度	令和 6 年度	学校名	大分県立 大分南 高等学校	
学校教育目標	「気力・節・友情」の校是のもと、知的で緊張感のある学校づくり、豊かな感動体験のある学校づくりを通して、正義と真理を愛し、生きる力に満ちた心身共に調和の取れた人間を育成する。			
重点事項	評価項目	評価の観点	評価	今後の改善方法(学校作成)
カリキュラム・マネジメントの確立	学校教育目標	○的確な学校経営ビジョンが策定されていて、学校教育目標の達成に資するために重点目標の焦点化が図られ、校長のリーダーシップの下、全教職員による教育活動が展開されているか。	・極めて良い。 ・管理職が優れたリーダーシップを発揮し、指摘事項に対して迅速に検討、改善策の提案を行っている。 ・学校経営ビジョンが明確で、他校との差別化が図られている点は評価できる。	・今後も短期のPDCAサイクルを意識し、目標達成のための教育活動及び改善を繰り返していく。 ・今後の更なる少子化を意識し、本校の特徴や強みを生かした他校との差別化を図っていく。
	PDCAサイクル	○重点目標を達成するための焦点化された取組指標や達成指標等が適切に設定され、機能しているか。 ○取組指標や達成指標等の評価・検証を計画的に行い、以後の実践に直ちに反映させるなどPDCAサイクルが確立しているか。 ○予期しない課題が判明した時点で、その解決に向けて校内分掌が速やかに機能するように、組織的な責任・運営体制は整備されているか。	・極めて良い。 ・第1回目の指摘を受け、スクール・ポリシーの達成状況を示す数値目標として指標を策定した点が素晴らしい。 ・来年度以降、この指標を用いての達成状況の把握を実施・継続してほしい。 ・「みなみのまなび」を学校教育目標やグラデュエーション・ポリシーと一体化し、作成し直した点は評価できる。 ※「みなみのまなび」:年間計画(学習、学校行事等) ・各行事と育成を目指す生徒の資質・能力、グラデュエーション・ポリシーとの関連付けを明確にすると良い。	・令和7年度の学校評価計画において、グラデュエーション・ポリシーに基づいた目標及び達成指標を設定する。 ・指摘にあるように、「みなみのまなび」を更にグラデュエーション・ポリシーと関連付けたものにし、ホームページや中高連絡会等で公表する。
	社会との連携・接続	○「開かれた教育課程」の理念に基づき、育成したい生徒像が家庭及び地域と共有されているか。 ・情報の伝達・公開を適切に行っているか。(ホームページ・SNSの活用、学校便りの発行等) ・生徒・保護者の学校への満足度や要望を把握する取組を行っているか。 ・地域内外の関係機関との連携や人材を活用しているか。	・極めて良い。 ・保護者アンケートの実施やホームページ等、第1回目の指摘を改善している点は素晴らしい。 ・今回の保護者アンケートにおける保護者の学校への満足度の高さも大変評価できる。 ・保護者アンケートの質問項目を見直し、保護者の意見や改善点を学校運営に反映する方法を検討してほしい。 ・ボランティア活動や福祉科の実習等、地域との連携体制が確立している点は高く評価できる。	・保護者向けアンケートは、質問項目を見直し、更に学校運営の改善に資する内容にして、毎年実施する。 ・ホームページでの広報に積極的に取り組む。
主体的・対話的で深い学びの実現	授業の活性化	○授業の活性化が図られているか。 ・学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。 ・授業のねらいに応じて、言語活動の充実を図ることで、「対話的な学び」が実現できているか。 ・授業の中で、知識を相互に関連付けて深く理解したり、情報を精査して自己の考えを形成したりする「深い学び」が実現できているか。 ・ICTを活用して、授業の効率化や授業の振り返りにつながっているか。 ○総合的な探究の時間や課題研究の学びとその他の教科・科目の学びが有機的に結びついているか。 ○生徒の学習習慣が定着し、学力及び学習意欲の高まりがみられるか。	・良い。 ・生徒の主体性を重視した授業やICTを活用した個別最適化を実現した授業が見られた。 ・「本時の目標」が提示されていない授業や教員が一方向的に説明する授業も見られたので今後改善してほしい。 ・指導教諭やDX推進主任が優れたリーダー力を発揮し、授業研究会を牽引している点は評価できる。 ・教員間の授業力格差を埋めるべく、今後も授業改善に尽力してほしい。 ・生徒の家庭学習の量・質を確保・維持するために、基礎学力の向上を目指した方策を更に検討してほしい。 ・進路目標やキャリアビジョンに繋がるキャリア教育を早期から開始し、今以上に学習意欲を向上させてほしい。 ・「生徒の探究的な学びにどのようにつなげるか」等、視点を明確にしたICT活用の研究を行ってほしい。	・年2回の授業研究会実施が効果をあげているので、次年度も内容を改善し実施する。 ・1人1台端末を活用した「個別最適化学び」の実現に向けて、一律的ではない家庭学習課題を研究する。(Classiの課題の有効活用を進める) ・次年度の授業改善スクールプランの指標に「目的や課題を明確にして授業に参加している」を記載し、授業づくりに反映させる。
安全・安心な教育環境	いじめ・不登校等の対策	○計画的な面談・相談を通して、個々の生徒の状況を理解した上で、生徒指導が学校の組織を挙げて行われているか。 ○いじめ・不登校防止対策に取り組む体制が整備され、いじめ・不登校問題に対して適切な対応がなされているか。	・極めて良い。 ・不登校が少なく、教育相談部とスクール・カウンセラーとの連携が実現できている点は高く評価できる。 ・保健室の来室状況や症状別来室状況、悩み内訳等を学校全体が把握している点は評価できる。 ・生徒のいじめ等はなく、良好な人間関係を築くことができていると評価している点は素晴らしい。 ・RAMPS(精神不調アセスメント)のスクリーニングに対して、丁寧に対応している点は素晴らしい。	・今後もRAMPS(精神不調アセスメント)を実施し、丁寧に対応する。 ・いじめについての頻繁なアンケート、定期的な人間関係作りプログラムの実施を継続する。 ・Q-U検査の実施及びホームルーム担任向けの研修を実施する。
	安全管理	○学校施設等の安全点検や通学の安全指導及び教職員・生徒の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか。 ○学校事故や非常災害など、緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理体制が機能しているか。また、生徒の安全を確保するための具体的取組が行われているか。	・極めて良い。 ・危機管理マニュアルを簡素化し、活用しやすく工夫している。 ・緊急時には重要事項をホームページにバナーとして表示するように改善した点は評価できる。 ・予告なしの避難訓練を実施し、生徒の危機管理に対する意識の醸成を行った点は評価できる。 ・自転車事故の件数が減少していることは素晴らしい。	・危機管理マニュアルは毎年内容を見直し、緊急時用はホームページに掲載する。 ・予告なしの避難訓練は今後も継続していく。 ・自転車は、特に1年生の事故が多いので、年度初めを中心に指導を進めていく。
信頼される学校づくり	働き方改革	○生徒と向き合う時間を確保し、生徒に対して効果的な教育活動を行うことができるよう、働き方改革が推進されているか。 ・会議・分掌業務、学校行事の精選、見直しを図られているか。 ・組織的な指導・運営体制の構築と学校の活動方針の徹底等による部活動改革に取り組んでいるか。 ・情報共有の効率化や校務情報化の推進など、ICTの効果的な活用によって業務改善が図られているか。	・DX推進部を中心に、業務のデジタル化や効率化が進んでいる点は評価できる。 ・採点補助システムに関する研修を実施し、業務の効率化を図ることができている点は評価できる。 ・学校行事や部活動の時間及び内容は、教員の働きがいと生徒への教育効果の観点から、検討してほしい。	・今後も業務のデジタル化、効率化を進めていく。 ・採点補助システムも多くの教員が使えるようになってきたので、更に活用を進めていく。 ・生徒の満足度が高くなるよう、学校行事の内容を検討する。
	学校課題の解決に向けた取組等	○普通科の総合的な探究の時間の活性化が図れているか。 ○スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの達成に向けた教育活動が計画されているか。	・2年次にかけてキャリアビジョンや学びが深まるよう、総合的な探究の時間の内容の見直しを検討してほしい。 ・総合的な探究の時間に対する教員の意識改革のための研修体制や活性化の方策を検討してほしい。 ・特定の教員に負担が偏らないよう、総合的な探究の時間担当分掌を創設する等、実施体制を検討してほしい。 ・福祉科のスキームを普通科が活用することによって、普通科の魅力化に繋がるようにしてほしい。	・福祉科の生徒研究発表を全校生徒が聞ける機会を今後も作っていく。 ・総合的な探究の時間は、教材を工夫し、教員が負担なく取り組めるよう改善する。 ・総合的な探究の時間の担当については、全体的な分掌機構を考慮しながら検討する。
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な生徒が多く、挨拶や校内の清掃も行き届いており、好感度の高い学校である。 ・部活動への参加率も高く、バレーボール、空手、弓道、書道等を中心に、実績を残している点は素晴らしい。 ・福祉科の介護福祉士国家試験合格者数は全国1位であり、素晴らしい。 ・普通科の魅力づくりの一貫として、総合的な探究の時間の改革を行うと良い。 			
校長コメント(次年度の改善策)	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの項目で「極めて良い」の評価をいただけており、引き続き高い評価をいただけるようにしていきたい。 ・特に本校のグラデュエーション・ポリシーに掲げる、生徒に付けたい力を明確に示し、このポリシーの達成に向けた学校評価計画、教育活動を展開していきたい。 ・授業改善については、多くのコメントをいただいている。指導教諭を中心とした授業研究会が軌道に乗り始めているので、次年度も引き続き実施するとともに、内容を改善したものにしたい。 ・総合的な探究の時間がより有効なものになるよう、主幹教諭を中心に改革を進めていく。 ・学ぶ意欲を高めること、自己のキャリアビジョンを明確にすること、他者との人間関係が良好なことは、生徒が本校で学びを継続する重要な柱であり、今後もより多くの生徒が満足した形で卒業を迎えられるよう教育活動を進めていく。 			